

オンライン用原稿

日本アニメーション株式会社

【事業概要】

弊社は日本のアニメーション製作黎明期より日本のアニメーション文化発展のため、数々の作品を製作してきました。「フランダースの犬」や「あらいぐまラスカル」に代表される「世界名作劇場」シリーズ、1990年1月7日の放送開始から現在も放送が続く「ちびまる子ちゃん」などの弊社製作のアニメーション作品が国内外問わず多くの皆様にご支持いただいております。

一方で過去に人気を博した作品であっても、現代のマネタイズ事情により埋もれている作品が弊社のライブラリーに存在することは事実であり、このような作品をどのように将来にわたって残していくかが課題でありました。さらにフィルムはTACベースで作られており、時間が経つにつれビネガーシンドロームというフィルム特有の病気を引き起こす可能性もありました。

昨年度の同支援事業において1987年に放映された「グリム名作劇場」全24話の35mmネガフィルムを2Kにてデジタル化し、それらをYoutubeにて公開したことで、反響を得られたことから今回は1988年放映「新グリム名作劇場」全23話のデジタル化を行い、弊社の公式Youtubeチャンネルにて2021年11月26日から2022年1月14日まで期間限定にて公開いたしました。



グリム名作劇場

カテゴリ別 ファミリー | 文学・伝記

年代別 1980年代

50音別 し

放送期間 1988/10/02~1989/03/26

話数 30分・23話

原作 グリム兄弟

放送局 朝日放送系

放送時間 日曜日10:00-10:30

88年度文化庁こども向けテレビ用優秀映画作品賞

©NIPPON ANIMATION CO., LTD.

ストーリー

前作の「グリム名作劇場」から半年のブランクを経て始まった新シリーズ。前シリーズに比べ、マイナーな作品が多く揃っている分、膨大なグリム童話の中から、視聴者が初めての物語に触れる機会を作っている。

【緊急性・必要性】

映像フィルムは特にTACベースフィルムにおいて、最適な温湿度による保管を行わない限り、ビネガーシンドロームと呼ばれる化学変化を起こし、酢酸化します。寺田倉庫の冷蔵倉庫内において発生を食い止めている状況ですが、一度発症してしまうとフィルムが復元することが難しくなります。その為、発症前に完成度が高い作品である「新グリム名作劇場」をデジタルライズしておく必要があります。

2020年新型コロナウイルスによる世界的な外出自粛・禁止措置により在宅する時間が増加し、改めて過去作品のアーカイブの重要性が認識されました。同作品のような教育的にもエンタテインメント的にも通用する映像の公開が今後のメディアアーカイブにおいて必要と考えました。

● 参考資料 ※本事業の対象となるフィルムは現在は正常な状態です。

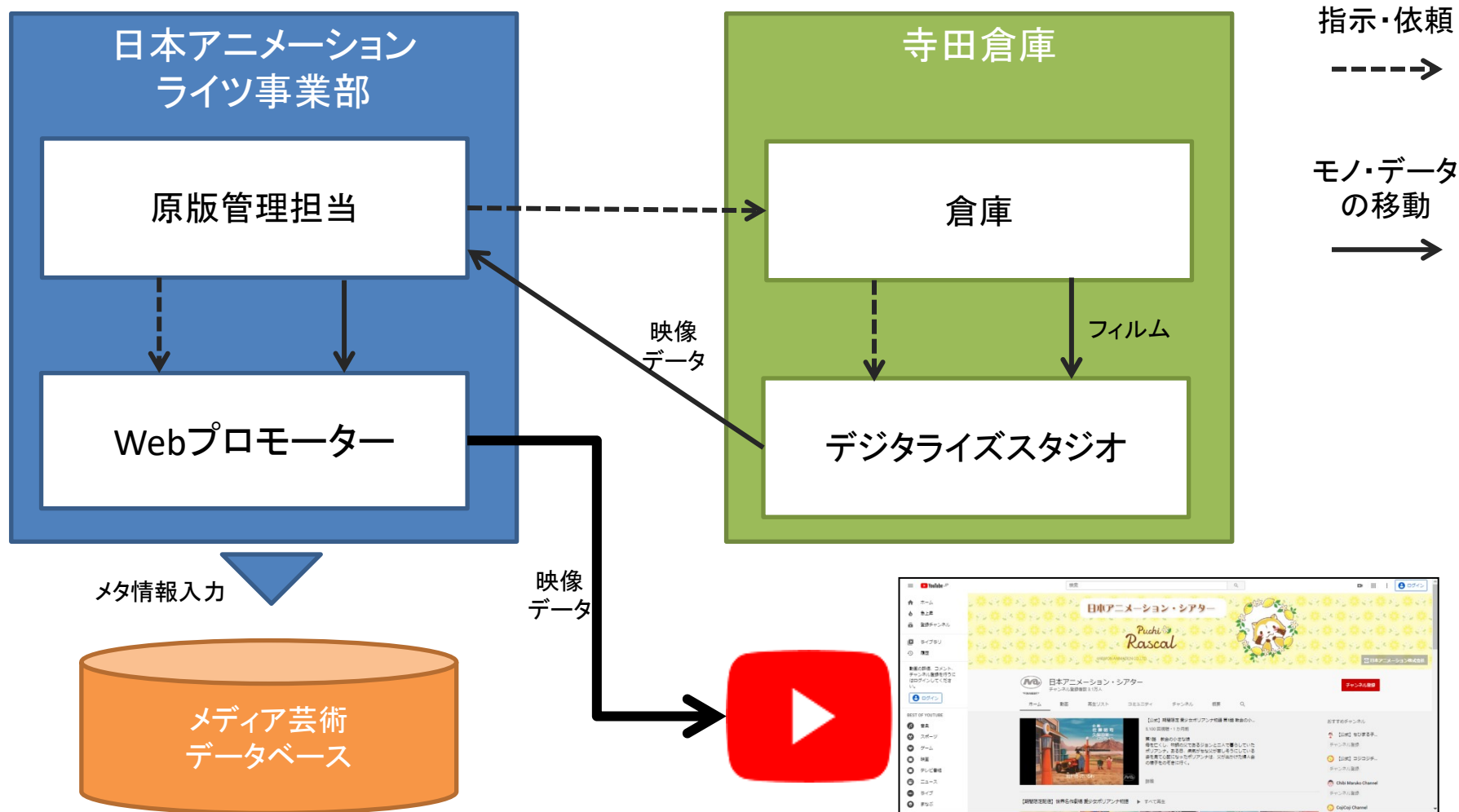


～ビネガーシンドローム～

高温多湿、経年劣化などの要因でフィルムが加水分解を引き起こすことにより、ひどいものでは上記写真のように劣化してしまいます。また、これにより発生する酢酸臭は他の安全なフィルムにまで伝染し、加水分解を促進させます。

【実施体制図と公開方法】

デジタル化対象のフィルムは寺田倉庫にて保管しているため、そのまま同社にてデジタル化作業を実施。出来上がった映像データはHDDに格納の後、弊社へ納品。
内容チェック後に弊社WebプロモーターによってYouTubeにて2021年11月26日より公開しました。



YouTube弊社公式チャンネルでの配信

【実施による成果と社会的効用】

「新グリム名作劇場」のYouTube配信により、視聴した子ども、親がグリム童話に興味を持ち、SNS等によってムーブメントになることができれば、グリム童話という世界的名作文学に脚光が集まり、書籍・映像化といった商業的展開や文学的、歴史的研究といった学術的展開の期待も考えることができます。今回の期間限定公開による視聴者数はおおよそ約3.4万人（2022年1月12日時点）になります。

